東京都立杉並総合高校　令和3年度　家庭科　年間授業計画

教　　科:（ 家庭 ）　科　目:（ 家庭基礎 ）単 位 数:（ 2単位 ）

対象年次組:第　1　年次

使用教科書:（新家庭基礎　パートナーシップでつくる未来　　）

使用教材　:（副教材:最新生活ハンドブック　被服実習:半縫製済みエプロン）

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	家庭科を学ぶにあったって	・「家庭基礎」を学ぶにあたって，学習の意義や内容，情報収集，レポートの書き方など学習の方法，評価の方法を理解する。ホームプロジェクトのまとめ方について。	ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	1
	1節　自分を見つめる	・自分自身について客観的に知り，生涯を見通して人の一生について考え，それぞれのライフステージごとの特徴・課題を理解する。	自分について客観的に見つめることができ，人の生涯の特徴・課題を理解することができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	1
	2節　自立した生き方、共に生きる人生	・男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し，どのような青年期を生きるかを考えることができるようにする。	青年期である自分がこれからどのような生き方をしていくのか，社会的背景をも含め，考えることができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
5月	3節　共に生きる家族	・さまざまな結婚，家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し，現在の家族の抱える課題などを理解する。	時代と共に変化する家族の形や機能について理解し，現代の家族にかかわる課題についても社会的な事象を考えながら理解することができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	4節　家族に関する法律	・家族に関する法律について学習し，理解する。	憲法・民法の家族に関する条文について理解し戦前，戦後から現在までの民法の改正の動きについて知る。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	1節　人と衣服のかかわり	・衣服の起源や歴史，風土に適した衣服などの学習を通して，衣服とは何かを理解する。また，ライフステージごとの衣服についても学ぶ。 ・衣服の機能について，自然環境や社会環境とのかかわりを学習する。	衣服が着用された説について，その背景や風土などを考え理解できる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	2節　衣服の素材を見てみよう	・衣服素材の種類，繊維の種類と特徴，衣服素材の性能について理解し，用途に応じた素材の選択ができるようにする。	織物・編み物の構造，繊維の種類と特徴，それぞれの素材の性能や加工方法などが理解できる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
6月	3節　衣生活の管理	・計画的な衣生活を送るために，衣服の購入・選択，洗濯・保管，廃棄までの流れを理解する。	衣生活の選択・購入から洗濯の方法，廃棄に至るまで，衣服計画が理解できる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	1
	4節　衣生活と資源・環境	・衣生活と資源・環境とのかかわり，また，環境に配慮した衣生活について学習する。	衣類の製造には，多くのエネルギーが使われていることを知り，リユースなど，環境に配慮した衣生活につなげることができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	5節　すべての人が快適な衣生活を	・衣服と健康障害や事故について，また，ユニバーサル・デザインについても学習する。	衣類に起因する肌トラブルなどに関して学び，適切な衣類の選択や管理が行えるようにする。また，ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	6節　衣服の形・デザイン	・平面構成・立体構成，人体と衣服の関係について，さらに，衣服のデザインや形について学習する。	衣服の構成について理解することができる。また，色やデザインなどについて，自分に合った着装について考えることができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
7月	1学期期末考査	・学習した内容について、基本的知識を身につけ理解できているかどうかを評価する。	観点別評価を基準に総合的に評価を行う	1
	夏季課題「ホームプロジェクトの実践について」	・自分の身のまわりの生活課題をみつけ，夏休みに調査・研究を行い，ホームプロジェクトのレポートとして提出する。	家族の生活時間や，食・衣・住に関すること，ボランティア活動など，自分で関心のあること，また生活から見えてくる課題を取り上げ，解決にむけて実践することができる	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
9月	ホームプロジェクト発表会	・クラス内で発表しルーブリック評価により相互評価を行う	発表会を通じ、あらゆる生活上の課題に目を向け解決する力を相互に確認し、生活に活かしていく。	2
	被服製作「半縫製済みエプロン」	・ミシンを使い、手作りの良さを考えた半縫製済みエプロンの製作を行う	布の特徴や扱い方を理解し、仕上げたものを活用し環境問題に対応できるようにする。ミシンの扱い方を理解する。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	被服製作「半縫製済みエプロン」	・ミシンを使い、手作りの良さを考えた半縫製済みエプロンの製作を行う	布の特徴や扱い方を理解し、仕上げたものを活用し環境問題に対応できるようにする。ミシンの扱い方を理解する。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
10月	被服製作「半縫製済みエプロン」	・ミシンを使い、手作りの良さを考えた半縫製済みエプロンの製作を行う	布の特徴や扱い方を理解し、仕上げたものを活用し環境問題に対応できるようにする。ミシンの扱い方を理解する。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	1節　私たちの食生活	・食事調査を通して，各自の食生活の問題点について考える。	食生活の課題について考えることができる。食事の意義についても考え，自分の食生活の改善へとつなげることができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	2節　栄養と食品のかかわり	・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を習得する。	栄養素のからだの中での働きを理解し，それらを含む食品を理解し，バランスのとれた食生活につなげることができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
11月	3節　食品の選び方と安全	・食品衛生（食品の選択，食中毒，食品添加物）について学び，消費者として，家庭生活を営む者として知っておくべき知識を身につける。	食品を選択する際に必要な食品表示の見方，食中毒などの安全に対する知識を得，健康的な食生活が送ることができるようになる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	5節　これからの食生活を考える	・食品の自給率や食に関する環境について考察します。また，環境を考えた食生活（食品ロス等）について考える。	日本の自給率についての課題について考えることができ，自分たちができることは何かを考え，実践につなげることができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	1節　人と住まいのかかわり	・住まいの機能や，住まいと気候風土とのかかわり，家族周期とのかかわりなどについて学習する。	住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心を持ちことができる。また，ライフステージによって，住まいに求めるものが違うことが理解できる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	2節　住まいを計画する	・生活の機能に応じた住空間の構成を理解し，ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画ができるようにする。また，平面図の読みとりができるようにする。	住生活のそれぞれの空間においての機能を理解し，考えることができる。基本的な平面記号を読み取れるようになる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	3節　健康的な住まい環境	・快適な室内環境について，日照・採光，通風・換気，騒音，冷暖房などの要素を学習する。	健康的な住まい環境における基本的な知識が理解でき、快適な生活につなげることができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
12月	2学期期末考査	・学習した内容について、基本的知識を身につけ理解できているかどうかを評価する。	観点別評価を基準に総合的に評価を行う	1
	4節　安全な住まい環境	・家庭内事故や災害について学習し，安全な住まい環境について理解する。	自然災害，人為的な災害などに対する防災・防犯意識を高め，対策を考えることができる。人にやさしい住まいを考えることができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	5節　これからの住まいを考える	・住生活の現状や住宅政策を理解し，これからの課題を考える。住環境の役割について考え，地域社会とのかかわりも含めて，よりよい住環境を考える。 ・すべての人にとって住みやすい住環境づくりや，環境に配慮した住生活について理解する。	現在の住生活をとりまく課題について理解することができる。持続可能な社会を考え社会的整備の必要性を考えることができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1月	1節　子どもを知る	・保育を学ぶ意義について学習します。子どもの世界と出会うことによって，自己理解を深める。	子どものものの見方・感じ方には子ども独特の世界があること，子どもを理解することで，より自分についても深く考えることができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	2節　発達のすばらしさ	・子どもの誕生，子どもの心身の発達と特徴について理解する。	人の発達において，保育がいかに重要であるかを学び，誕生から幼児期までの子どものからだと心の発達について理解する。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	3節　子どもの生活	・子どもの食生活・衣生活，遊びについて理解を深める。 ・おもちゃや絵本などの児童文化財が子どもの発達や生活にとってどのような影響を及ぼすのかを考える。	子どもの食・衣・遊びなどについて理解し，それらの知識にもとづいた子どものおやつづくり，おもちゃづくりができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	4節　親になることを考えよう	・現在の子どもをとりまく環境を知り，子どもの発達と環境とのかかわりについて考える。 ・青年期の健康管理の重要性を理解する。	子どもの人間形成の重要性について理解できる。子どもをめぐる社会的な問題についても理解する。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
2月	5節　すこやかに育つ環境	・家庭保育と集団保育，子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。	家庭保育・集団保育の重要姓を理解し，子どもがすこやかに育つため環境が整えられているのかICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	1節　高齢社会に生きる私たちの暮らし	・高齢社会の現状と課題について理解する。	現在の高齢社会，高齢化の進む社会について統計等より理解する。また，高齢社会における課題についても理解できる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	2節　高齢者を知る	・高齢者の心身の特徴や生活について理解する。	高齢者の心身の特徴や生活について理解し，積極的に高齢者とその生活を知ろうとする。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
3月	3節　豊かな高齢期を迎えるしくみ	・介護保険制度のしくみやサービスの内容，地域住民間での助け合いの活動などを理解する。	高齢期に関する制度について必要性を理解し，また，高齢社会を社会全体で支えるしくみを理解することができる。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	1節　消費行動と意思決定 2節　社会の変化と消費生活	・消費行動において，意思決定のプロセスを理解する。 ・契約、多様な販売方法、問題について解決方法について理解する。	契約にかかわる消費者トラブルの種類や内容について知り，それらのトラブルの解決方法についても理解する。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	3節　消費者の権利と責任	・消費者の権利と責任について理解し，消費において自主的に行動することの必要性を理解する。	近年の消費者問題を学び問題の解決のための消費者運動や消費関連の法律や行政の動きなどを理解する。ICTを活用し、ワークシートを提出させ評価する。	2
	3学期期末考査	・学習した内容について、基本的知識を身につけ理解できているかどうかを評価する。	観点別評価を基準に総合的に評価を行う	1